



日本テクノ・ラボ株式会社 (札幌アンビシャス：3849)

2024年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

July 31, 2023

<https://www.ntl.co.jp/>



2024年3月期1Q 決算概況

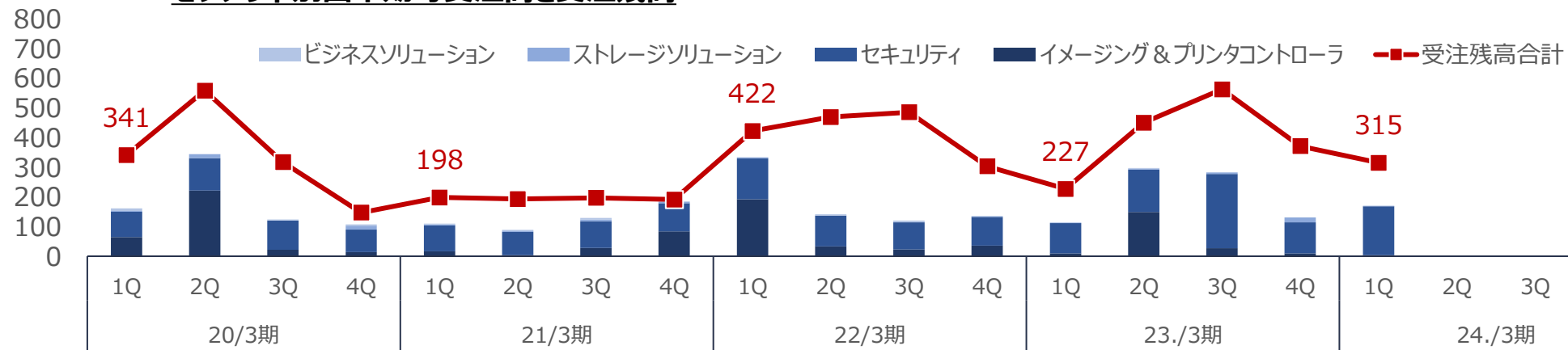
2024年3月期 1Q総括

前期末からの受注残をこなし順調なスタート。新たな受注も積み上がり受注残高は高い水準を維持。

- 受注残の納品が順調に進んだことにより、売上高は前年同期比+13.8%の増収。
- 営業利益は34百万円の黒字確保。
- FIRE DIPPERを中心にセキュリティの受注好調。
- 受注残高は3.1億円

(単位：百万円)

セグメント別四半期毎受注高と受注残高



損益計算書サマリー

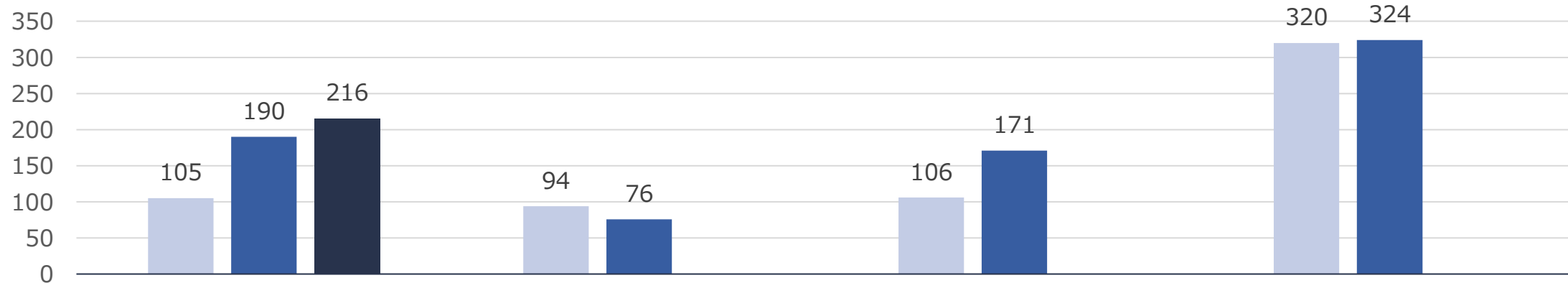


単位：百万円	2024/3期 1Q実績	2023/3期 1Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	216	190	+26	+13.8%
営業利益	34	2	+31	+1,083.2%
経常利益	34	3	+31	+944.1%
四半期純利益	23	2	+21	+989.0%

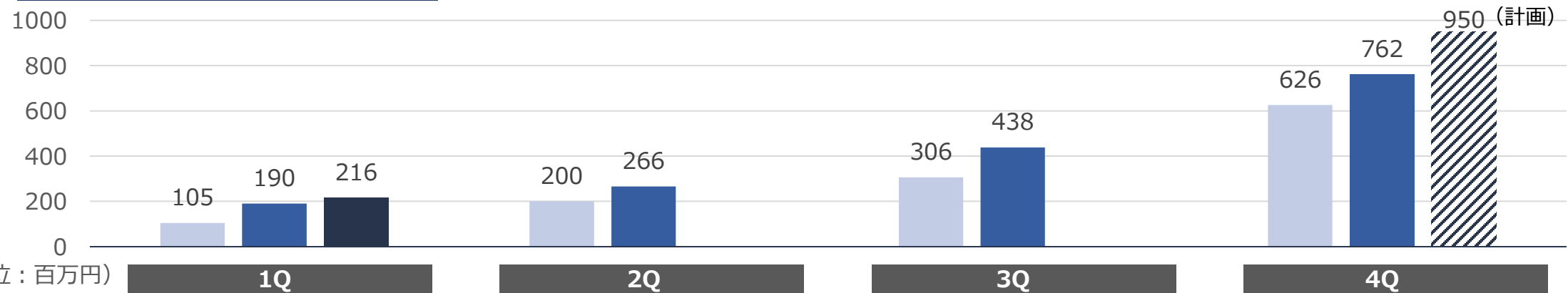
四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



累計売上高推移

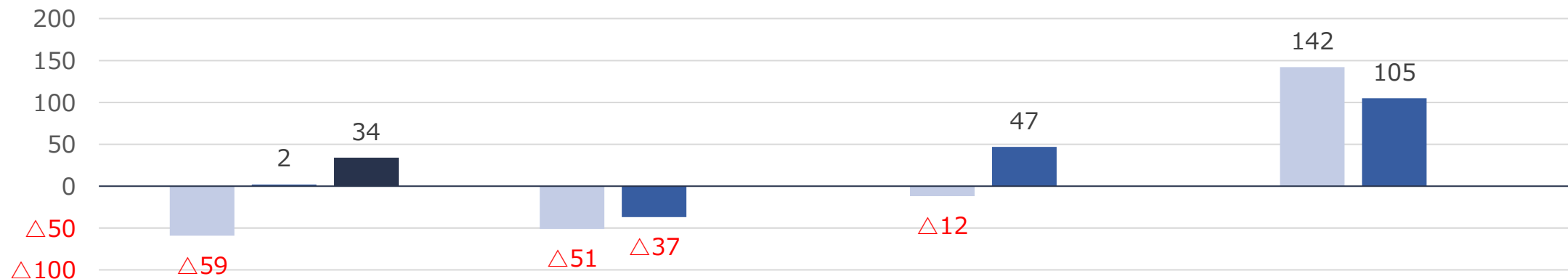


(単位：百万円)

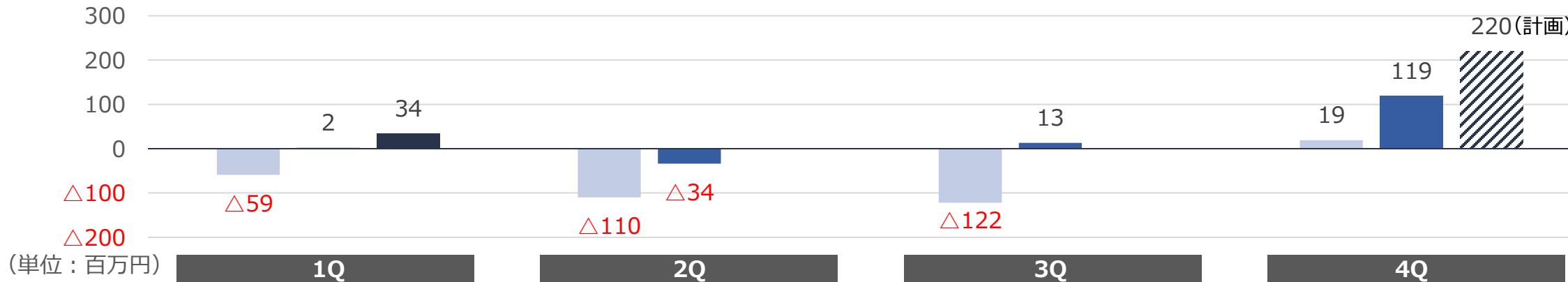
四半期業績推移 (営業利益：過去3期比較)

四半期毎の営業損益推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



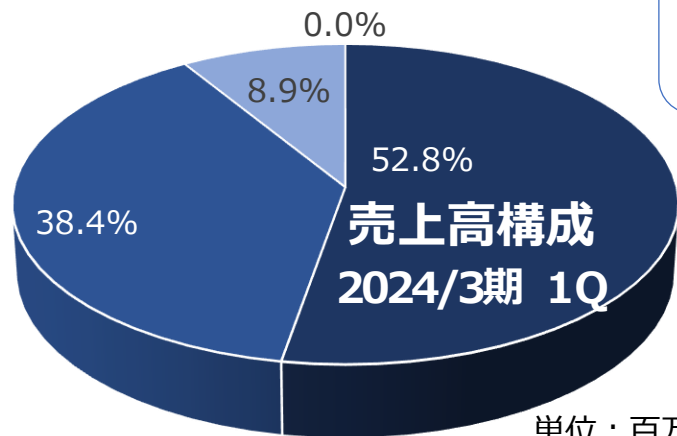
累計営業利益推移





2024年3月期1Q セグメント別概況

事業領域：セグメント



単位：百万円

- イメージング
- セキュリティ
- ストレージ
- ビジネス



顧客ニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守

ビジネスソリューション事業

世界Only One
産業用インクジェット・プリンタ用制御ソフトウェア、広巾長尺プロッタ用制御ソフトウェア、ポストスクリプト・ラスライザの開発、販売及び保守

イメージング & プリンタコントローラ事業



ストレージソリューション事業

可搬型記憶媒体システムの開発、販売、保守
世界Only One

セキュリティ事業
セキュリティプリントシステムおよび統合監視映像システムの開発、販売、保守
世界Only One



セグメント別情報 売上高／セグメント利益



単位：百万円		2024/3期 1Q		2023/3期 1Q		前年同期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	売上高	114	52.9%	146	76.9%	△31	+22.0%
	セグメント利益	45	—	65	—	△19	△30.3%
セキュリティ	売上高	83	38.4%	41	21.9%	+41	+98.9%
	セグメント利益	21	—	△19	—	+40	黒字化
ストレージソリューション	売上高	19	8.9%	2	1.2%	+17	+761.1%
	セグメント利益	3	—	△13	—	+16	黒字化
ビジネスソリューション	売上高	0	0.0%	0	0.0%	△0	△100.0%
	セグメント利益	0	—	0	—	△0	△100.0%

イメージング & プリンタコントローラ事業



**前期（大型案件）からの反動で減収、減益。
需要は旺盛のため、技術開発を継続。**

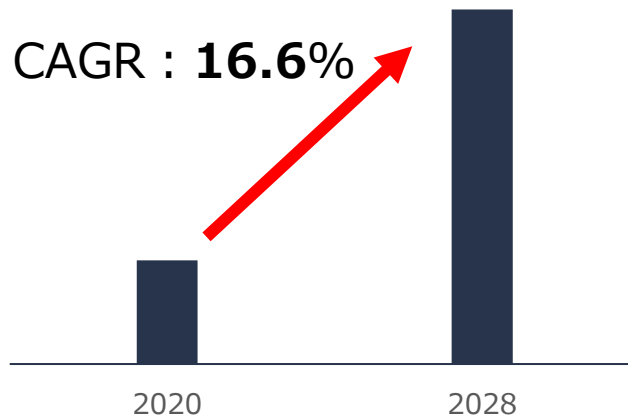
ニューノーマルの生活様式が浸透する中でパッケージデザイン等における多様性、短納期のニーズが拡大。

高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている状況に変化無し。

バリエーション印刷へのニーズを的確にとらえるべく、業界ニーズを先取りする研究開発に注力。

世界のバリエーションデータ印刷の市場規模予測

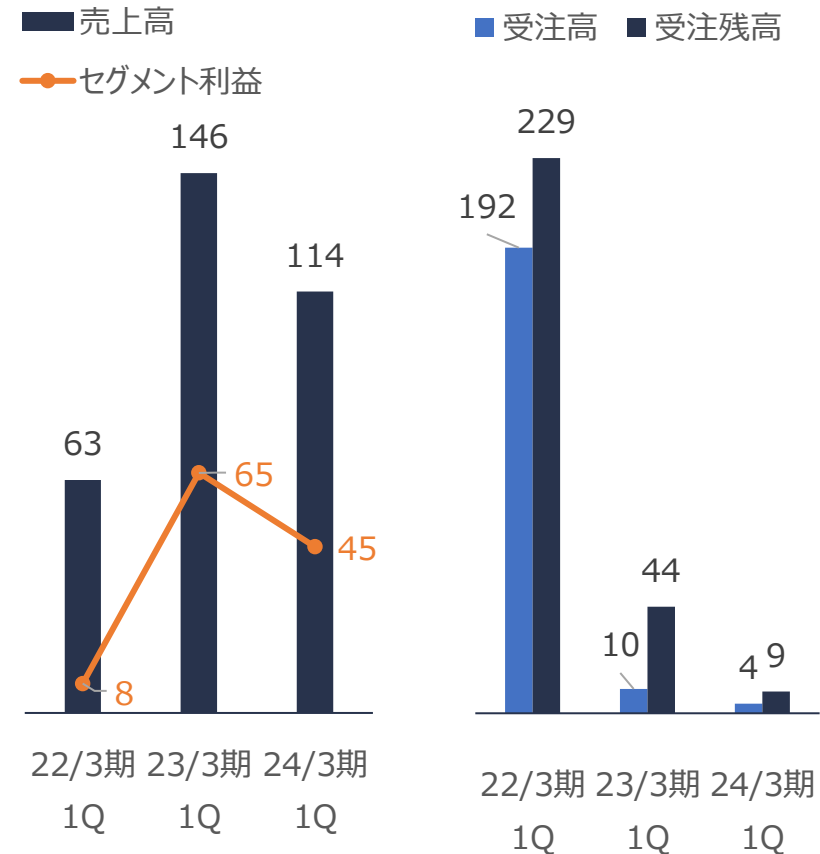
CAGR : 16.6%



出所：Statistics Market Research Consulting / バリエーションデータ印刷の世界市場：構成別（フェイスストック、トップコート）、コンポーネント別（バリエーションデータ印刷機、バリエーションデータ印刷ソフトウェア、サービス）、地域別分析-予測（～2028年）（2021年11月01日 発行）

セグメント別業績推移

単位：百万円



セキュリティ事業



**情報・映像ともに引合い活発。受注も好調。
受注残高は3.0億円**

【情報】

主力製品SPSEが前期総務省に採用されたことをきっかけに、自治体からの引合い増加中。

【映像】

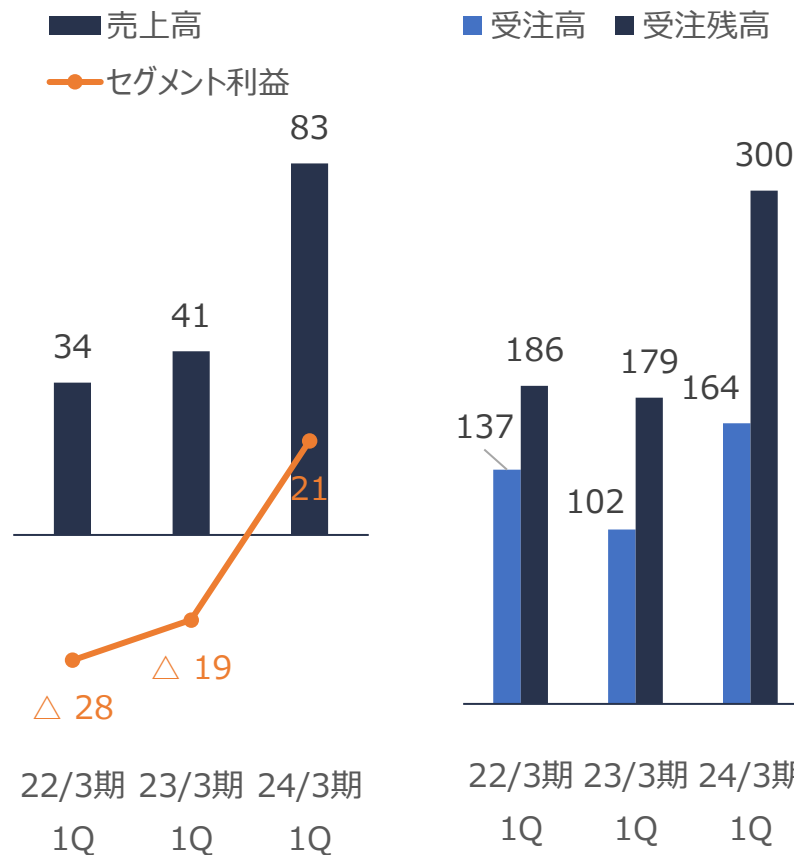
映像データをリアルタイムに解析、感知する技術へのニーズが増加傾向。AIを利用した解析技術により市場のニーズに応える。

原子力発電所などプラント監視案件も引合い増加。

「医学部向けOSCE試験対策用システム」は金沢大学で採用され、他の国公立大学、私立大学からの引合いが増加中。

セグメント別業績推移

単位：百万円



ストレージソリューション事業



国内完成車メーカー向けにLTOを使った Mnemos NEXTを納品。黒字化。

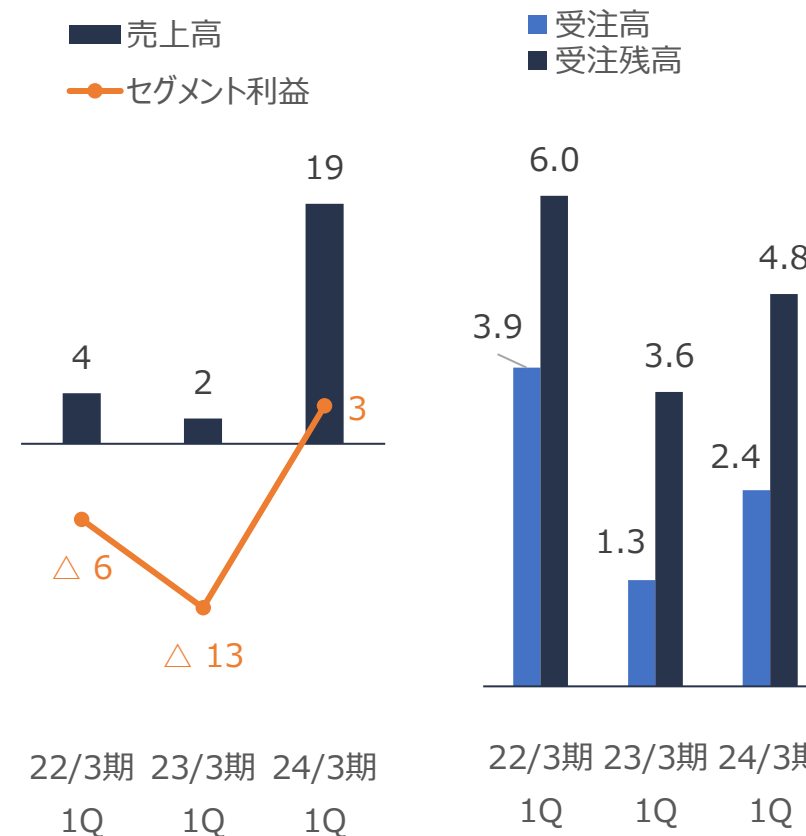
脱炭素社会の動きの一環として、省電力の観点からもビッグデータ保存用途として、医療現場、医療研究機関等からの引合いは増加。

LTO (Linear Tape-Open) の特長

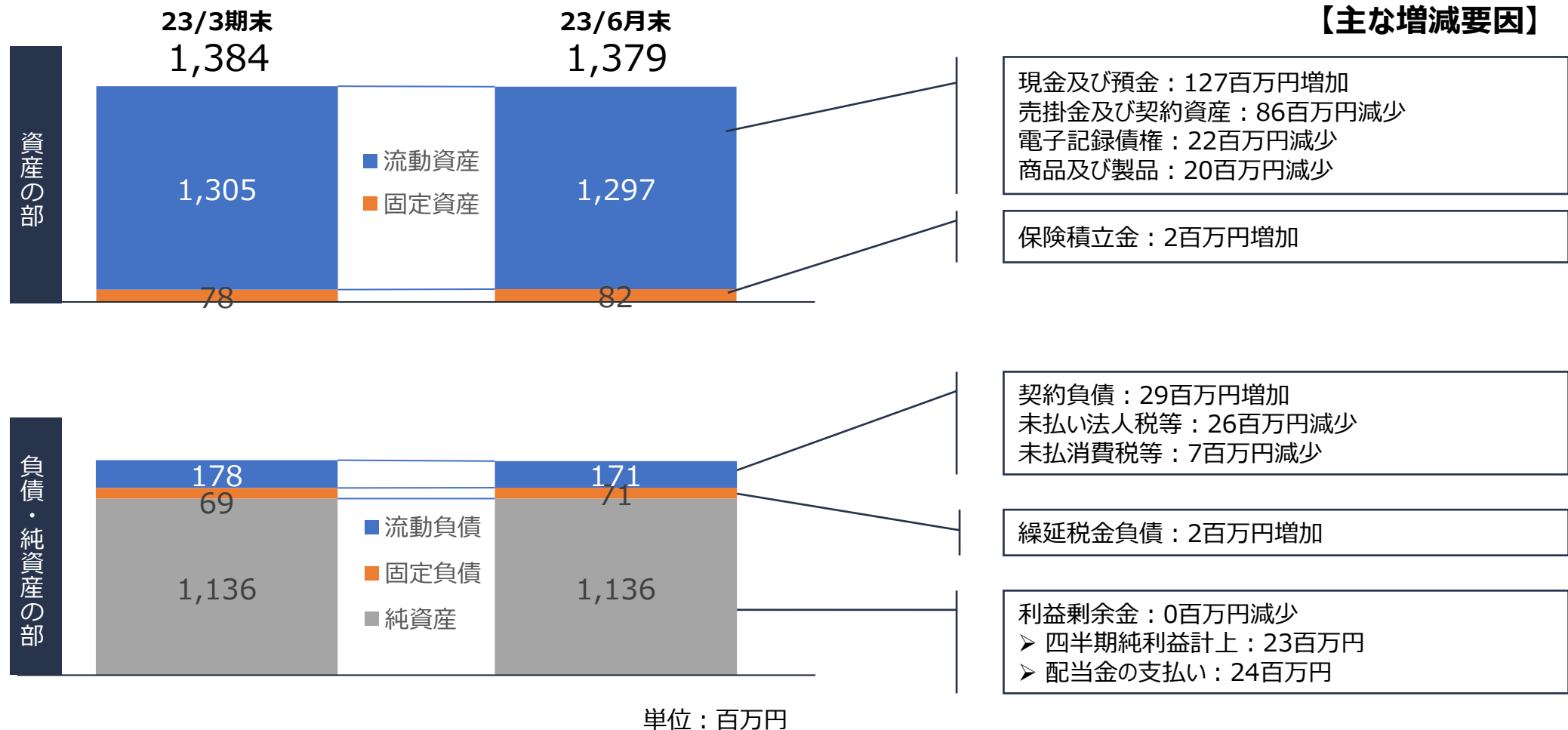
- **長期間のデータ保存が可能**：磁気テープは30年を超える期待寿命を持ち、長期間のデータ保存に向く。
- **データ転送速度**：最新世代であるLTO-9の伝送速度は、非圧縮時において400MB/s、圧縮時で900MB/s。HDD=150MB/s程度、SATA接続のSSD=500MB/s程度
- **低コスト・省エネルギー**：HDDなどと比較するとデータの保管可能容量が大きいことに加え、メディアそのものの価格も安価。使用時に通電の必要がないため、消費電力も小さい。

セグメント別業績推移

単位：百万円



貸借対照表



2024年3月期通期業績予想と2Q以降の取り組み

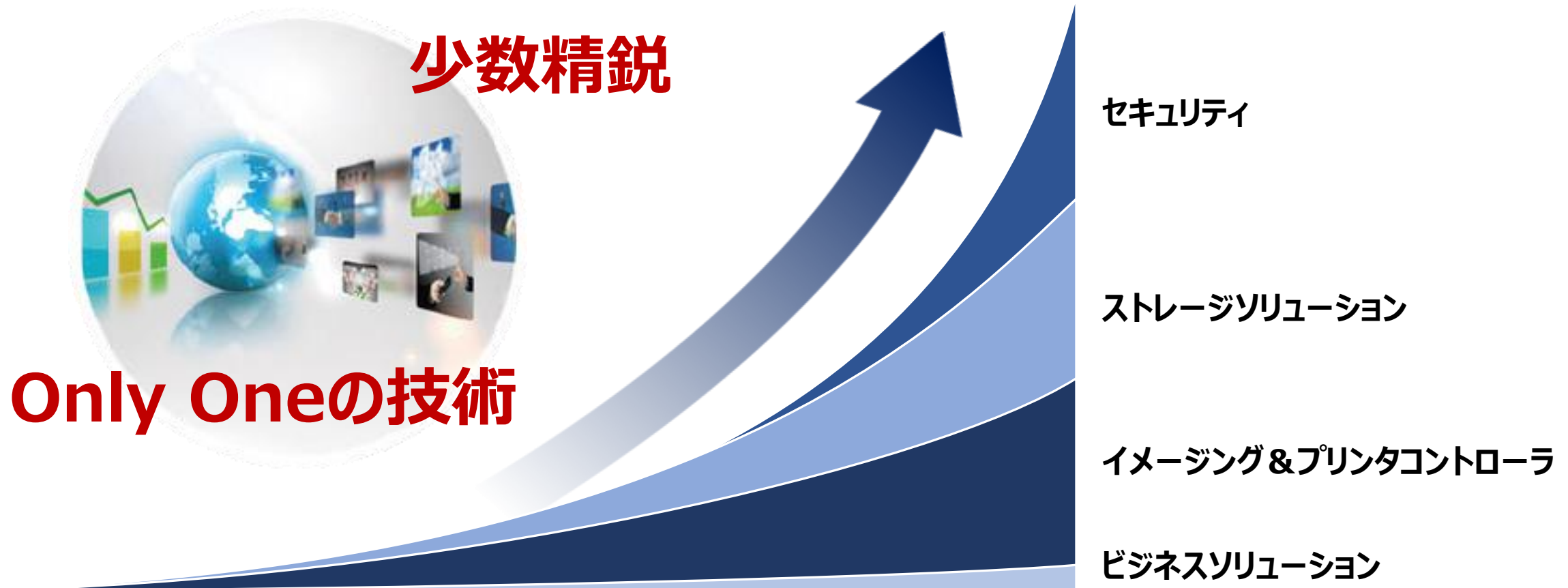
1Qは順調なスタート。2Q以降は新たな受注獲得に向け、より積極的に展開。

Point

- SPSEが地方自治体を中心に導入拡大中。
- FIRE DIPPER、OSCEなどセキュリティ（映像）も好調。引合い多数。
- 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けたR&Dにも引き続き注力。

	2024/3期 予想	2023/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	950	762	+187	+24.6%
営業利益	220	119	+100	+84.6%
経常利益	220	122	+97	+79.6%
当期純利益	130	86	+43	+50.2%

中期成長イメージ





<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。